



INDEX

・ 令和3年度第2回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催.....	1
・ 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の冊子を発刊予定.....	3
・ 鶏卵販売実績報告書等の記載について（注意点）.....	4
・ 令和3年度 公正マーク付きたまご プレゼントキャンペーンについて.....	5
・ 農業経営統計調査 農業経営収支（農林水産省）.....	7
・ 内閣府よりお知らせ 「メリットいっぱい マイナンバーカード」.....	10
・ 統計データ.....	11
・ 協会活動報告.....	12

令和3年度第2回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催

今シーズンに鳥インフルエンザが発生した農家も参加

今シーズンの鳥インフルエンザの防疫措置の徹底を図るため、発生県の養鶏協会関係者や生産者の参加を得、（一社）日本養鶏協会は1月17日に令和3年度第2回鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催。

松本義治委員長ほか7名の委員が参加したこの委員会では、今シーズンの鳥インフルエンザ発生県の兵庫、愛媛両県の養鶏協会関係者のほか、兵庫県は当協会の中山理事、愛媛県は発生農家にリモート参加していただきました。また予め提出された秋田と鹿児島両県の発生農家からの報告を委員会で発表しました。

地域の防疫措置の事情、生産者の意見、要望、今後の対応等について、農林水産省消費・安全局動物衛生課の下平補佐の参加の下話し合われました。

昨シーズン大発生した高病原性鳥インフルエンザの疫学調査等の結果、以下の防疫措置が重要だとされています。

- ① 飼養衛生管理の徹底
- ② 人・車両、野鳥を含む野生動物を介した農場内及び家きん舎内へのウイルスの侵入の防止
- ③ 農場周辺の消毒等防疫対策の徹底
- ④ 初動防疫を迅速に措置するための早期通報

特に②については、家きん舎内に入る際の長靴、衣服、手袋の交換と手指の消毒、家きん舎内へのネズミや野鳥等の小動物の侵入防止のための防鳥ネットの設置や鶏舎の小さな隙間等の修繕が求められています。



加えて今回の委員会で以下のポイントが今後考慮すべき点と考えられました。

- ① 農場周辺や農場内の水場等への対策
- ② 鶏糞堆肥舎への防鳥ネットの設置若しくはその修繕
- ③ 死鳥をコンポストに投入していることへの対応
- ④ 従業員に担当鶏舎を割り当てず、ローテーションで回していることについて

①の農場内の水場とは、鶏舎の雪降ろしのために鶏舎間に掘った穴が大雨で水場となった事例です。各農場の特殊事情が鳥インフルエンザの発生要因にならないよう注意が必要です。ある農場では取り壊し予定の鶏舎に発生したのは防疫措置に甘さがあったからと反省されています。

今後はカラス等の野鳥類を可能な限り堆肥舎に呼び込まない対策が必要で、上記の②、③に留意することが必要でしょう。

どの発生農家の方も殺処分の最中は経営再建をあきらめたい気持ちにかられながらも、多くの励ましや行政等の支援等により新たな一步を踏み出す気持ちになったと話され、関係者への感謝の気持ちを表明されたのは印象的でした。

■ 鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■ 令和3年度 鳥インフルエンザに関する情報について（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r3_hpai_kokunai.html

■ 高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ発生に係る生産者支援対策等（農林水産省）

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/shien_taisaku.html



「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の冊子を発刊予定

コレステロールに関する今までの誤った認識を正し、タマゴの摂取を制限する必要はないこと、タマゴの機能性栄養成分の魅力について、どんな年齢層でもタマゴの栄養素は健康長寿の架け橋であることを強調。



(一社)日本養鶏協会は「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」と称する冊子を令和3年度中に公開します。40ページほどのこの冊子は重要な基本食材であるタマゴについて、その安全性や機能性栄養成分を中心に、タマゴの生産から消費までの行程で消費者に知っていただきたいことをわかりやすく説明しています。

この冊子を作成した背景には、タマゴに対する一部マスコミの根拠に乏しく誤解を生むような記事に対して、タマゴの安全性や機能性栄養成分について確かな根拠に基づいて一般消費者に情報を発信する意義を感じたからです。

最終的には世代を超えてタマゴのシンパを増やし、タマゴの魅力と需要が広まることに貢献できればと考えています。

この冊子の編集コンセプトは、業界目線を離れて消費者目線で冊子を作成する、ということで、従来のようにややもすれば生産者目線で消費者にアピールするのではなく、一般消費者の目線に立ち消費者の抱く疑問にわかりやすく応える内容にすることです。

次にタマゴの安全安心からタマゴの機能性や魅力へ、ということで、安全安心を前提として安価で栄養価が高く機能性に富んだタマゴの魅力を余すところなく消費者に届ける内容にすることです。

「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の掲載内容

1. 日本人のタマゴ好きは世界で二番目！
2. ニワトリってどんなトリ
3. タマゴは大きな細胞 – その生命のカプセルの不思議
4. 健康な生活に必要な魅力あふれるタマゴの機能性栄養成分について
(スタジオ「食」主宰 牧野管理栄養士の特別寄稿)
5. 知って得するタマゴの表示と保存方法
6. 鶏卵の生産から出荷まで – 新鮮で安全安心な卵を届けるために
7. タマゴの安全性について
8. 西欧から生まれたアニマルウェルフェア (AW) について



※イメージ (変更有)

「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の冊子は、印刷の前に協会WEBサイトで公開しますので、ご覧いただければと思います。



鶏卵販売実績報告書等の記載について（注意点）

令和3年度における鶏卵販売実績報告書等に関する下記確認調査を行った結果、主な問題点につきご紹介致します。内容をご確認のうえ、徹底のほど、よろしくお願い申し上げます。

- (1) 趣旨：業務委託要領の規定に基づき、加入生産者から提出される販売実績数量が販売伝票等証拠書類に基づいて記入されているか等について
- (2) 調査内容：
 - ① 関係書類の保管状況
 - ② 鶏卵販売実績報告書に係る証拠書類の確認、販売実績数量と根拠資料との照合

主 な 問 題 点

① 関係書類の保管状況

1. 基本契約書又は年次契約書が保管されていない。
2. 鶏卵販売実績報告書の写しが保管されていない。

※会計検査院の検査を受ける際に説明を求められることがあるため、販売伝票・帳簿・野帳等の証憑及び別紙様式4号等の写しは7年間保管をしていただくこととしております。

また関係書類の保管については、紛失及び散逸しないよう日毎、月毎及び年度毎に取りまとめ、提出を求められたときは速やかに提出できるよう整理整頓をお願いいたします。

【対応】 注意文書とともに第2期事業以降の協会保管の該当書類写しを送付

② 鶏卵販売実績報告書に係る証拠書類の確認等

1. 小口販売実績が区分けされず、販売実績に記載されていた。
2. 日々の小口販売実績を推定値で計算されていた。（実数を記載のこと）
3. 小口販売実績が定量で記載されていた。（実数を記載のこと）
4. 規格外卵が小口販売実績欄に記載されていた。
5. 販売実績記載分を小口販売実績欄に記載していた。
6. 販売実績において月次実績を按分して、日々の実績が記載されていた。（実数を記載のこと）
7. 販売実績に記載間違い、記載漏れがあった。（正しい実績を全量記載のこと）
8. 販売実績の小数点以下を四捨五入していた。（kg未満切捨でのこと）

※鶏卵販売実績報告書の「小口販売実績」欄の記入においては、庭先販売、自動販売機、道の駅等により直接消費者に販売した鶏卵の実績数量を、記載することとしています。

従って、その他のものを記載する場合は、「販売実績」欄に記載願います。

【対応】 正しい記入方法の指導文書を送付



令和3年度 第2回 公正マーク付きたまご プレゼントキャンペーンについて (抗生物質に関するクイズ 結果報告)

鶏卵公正取引協議会は「公正マーク」の普及促進活動の一環として、令和3年度第2回目キャンペーンを12月20日(月)～1月19日(水)で実施し、12,684名の応募がありました。



今回のクイズの問題は、次のうち正しいのはどれでしょうかと、抗生物質に関する認識を問うものでした。

問題

- ① 抗生物質の入っているたまごが日本にはある。
- ② 日本の卵には抗生物質が入っていない。

正解は②の日本の卵には抗生物質が入っていないです。

抗生物質については、飼料安全法により、おおむね10週齢を超えての投与は禁止されています。公正競争規約でも抗生物質は通常使用することが認められていないため、「この鶏卵は抗生物質を使用していません」等の表示は禁止されています。

このクイズの正解者数は10,604名、正解率は83.6%でした。

まだ、卵に抗生物質が含まれているという誤った認識を持った方も16.4%存在することが分かりましたので、やはり継続した正しい知識普及が必要のようです。



また、下記のとおり、第1回キャンペーンのクイズ「たまごの賞味期限とはなんでしょうか？」の答え合わせを実施し、賞味期限の正しい認識の普及を図りました。

問題

- ① 美味しく食べられる期限
- ② 生で食べられる期限
- ③ 衛生的に食べられる期限

**正解は②の生で食べられる期限でした。
(第1回クイズの正解率は78%でした。)**

賞味期限経過後は、万が一、サルモネラ菌が存在していたとしても（※）加熱すれば死滅するため、充分加熱調理すれば美味しく食べられます。

（加熱調理目安：中心温度75℃1分以上（[厚生労働省 大量調理施設衛生管理マニュアル](#)より））

（※）サルモネラ菌が存在する確率は、0.003%程度とされています。

■ [2011年食品安全委員会調査](#)

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/questionAndAnswer/show/mob20110900008>

■ [市販鶏卵のサルモネラ汚染状況調査（2020年農林水産省調査）](#)

https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/kekka/keiran/keiran_sal_06.html

■ [大量調理施設衛生管理マニュアル（厚生労働省）](#)

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzendu/0000139151.pdf>

【お問い合わせ】

鶏卵公正取引協議会 事務局

Tel : 03-3297-5516





農業経営統計調査 農業経営収支（農林水産省）

令和3年11月30日、農林水産省から「農業経営統計調査 令和2年農業経営体の経営収支」が公表されました。採卵養鶏経営に係るデータをご紹介します。

1. 営農類型別の農業経営収支（全農業経営体）

令和2年における採卵養鶏経営（全国平均）における1経営体当たりの月平均飼養羽数は81,480羽です。

農業粗収益は、27,290万円で、このうち畜産収入は、25,927万円でした。

全営農類型別の農業経営収支（全農業経営体・全国・1経営体当たり）

単位：万円

区 分	令和元年	2	対前年増減率(%)
農 業 粗 収 益	925.3	992.3	7.2
うち 作 物 収 入	506.9	539.8	6.5
畜 産 収 入	311.4	331.9	6.6
共 済 ・ 補 助 金 等 受 取 金	79.4	94.4	18.9
農 業 経 営 費	806.5	869.0	7.7
うち 雇 人 費	83.7	91.8	9.7
飼 料 費	124.7	132.8	6.5
荷 造 運 賃 手 数 料	67.0	87.5	30.6
減 価 償 却 費	100.8	107.3	6.4
農 業 所 得	118.8	123.3	3.8
経 営 耕 地 面 積 (a)	337.3	353.3	4.7

採卵養鶏経営の農業経営収支（全農業経営体・全国・1経営体当たり）

単位：万円

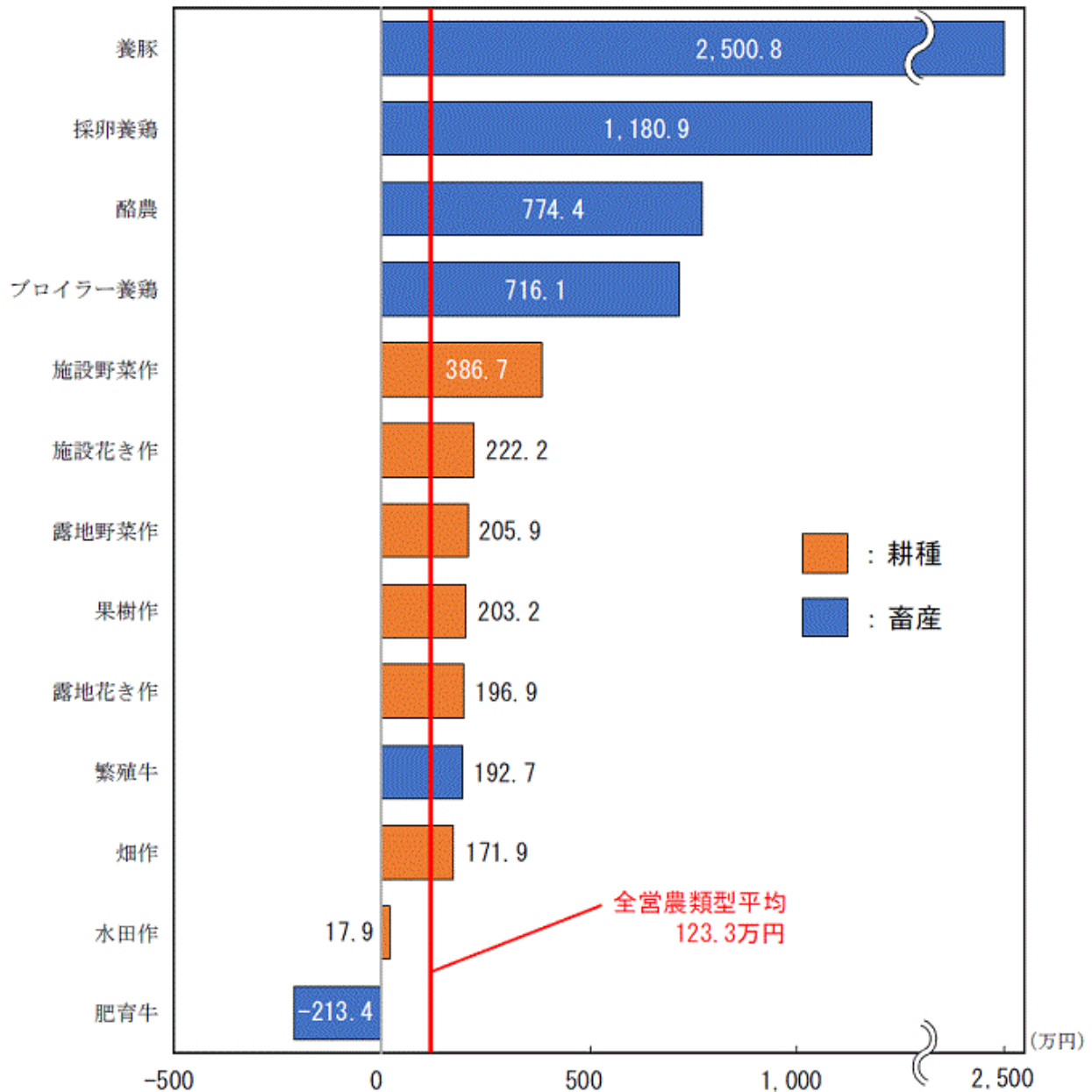
区 分	令和元年	2	対前年増減率(%)
農 業 粗 収 益	21,276.9	27,289.9	28.3
うち 作 物 収 入	24.9	41.1	65.1
畜 産 収 入	20,323.4	25,927.4	27.6
共 済 ・ 補 助 金 等 受 取 金	966.4	1,241.6	28.5
農 業 経 営 費	22,658.9	26,109.0	15.2
うち 雇 人 費	2,896.0	3,467.2	19.7
も と 畜 費	2,748.7	3,243.7	18.0
飼 料 費	10,741.2	12,141.7	13.0
荷 造 運 賃 手 数 料	1,100.0	1,482.4	34.8
農 業 所 得	△1,382.0	1,180.9	nc
月 平 均 採 卵 鶏 飼 養 羽 数 (羽)	67,860	81,480	20.1



2. 営農類型別の農業所得の比較（全農業経営体）

全農業経営体1経営体当たりの農業所得を営農類型別にみると、最も高かったのは養豚経営で2,501万円、次いで採卵養鶏経営で1,181万円、酪農経営で774万円の順となりました。

営農類型別の農業所得（全農業経営体）



■ 調査結果の利活用

農業経営収支の把握により、農業経営政策の企画・立案・政策評価等に活用



3. 関連データ

農業物価指数

平成27年=100

類別品目	令和元年	2	対前年騰落率(%) (2/元)
農産物(総合)	109.3	111.0	1.6
うち米	131.1	128.9	△1.7
いも	89.0	108.3	21.7
野菜	94.8	98.9	4.3
果実	116.4	133.1	14.3
花き	109.1	101.1	△7.3
生乳	105.6	106.1	0.5
肉用牛(去勢肥育和牛)	106.3	95.9	△9.8
肉豚(肥育豚)	92.2	97.5	5.7
肉鶏(ブロイラー)	97.2	99.0	1.9
鶏卵	80.2	81.3	1.4
子畜	121.9	108.1	△11.3
農業生産資材(総合)	101.9	101.8	△0.1
うち肥料	98.0	98.8	0.8
飼料	97.3	97.9	0.6
農業薬剤	100.5	102.3	1.8
賃借料及び料金	101.6	103.8	2.2
光熱動力	106.8	99.1	△7.2
諸材料	104.3	107.6	3.2
農機具	100.8	102.4	1.6

資料：農林水産省統計部「農業物価統計調査」

産業別にみた損益の状況(令和2年度)

単位10億円

区分	売上高	売上原価	販売費及び一般管理費	営業利益
全産業(金融業、保険業を除く。)	1,362,470	1,016,236	304,602	41,632
うち農林業	3,663	2,831	927	△95
漁業	1,073	886	240	△53
卸売業・小売業	482,161	387,237	87,550	7,373
食料品製造業	42,131	30,518	10,650	963
飲食サービス業	16,150	6,403	11,203	△1,455

資料：財務省「法人企業統計調査」



■ 営農類型別経営統計（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/>

■ 令和2年 農業経営体の経営収支（農林水産省）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/einou/attach/pdf/index-2.pdf>

【お問い合わせ】

大臣官房統計部経営・構造統計課

担当者：営農類型別経営統計班

代表：03-3502-8111（内線 3636） ダイヤルイン：03-6744-2043

担当者：農業組織経営統計班

代表：03-3502-8111（内線 3638）

ダイヤルイン：03-6744-2243

内閣府よりお知らせ「メリットいっぱい マイナンバーカード」

内閣府よりマイナンバーカードのメリットについてお知らせがありました。

平成28年1月から利用が始まったマイナンバーカード。利活用の範囲が広がり、ますます手放せないカードとなってきました。

令和4年1月1日よりマイナポイント第2弾が開始！
申請はお早めに！！

■ マイナンバーカード 総合サイト

<https://www.kojinbango-card.go.jp/>

【お問い合わせ】

マイナンバー総合フリーダイヤル：0120-95-0178

平日9：30～20：00 土日祝9：30～17：30

または住民票のある市区町村の窓口まで





統計データ



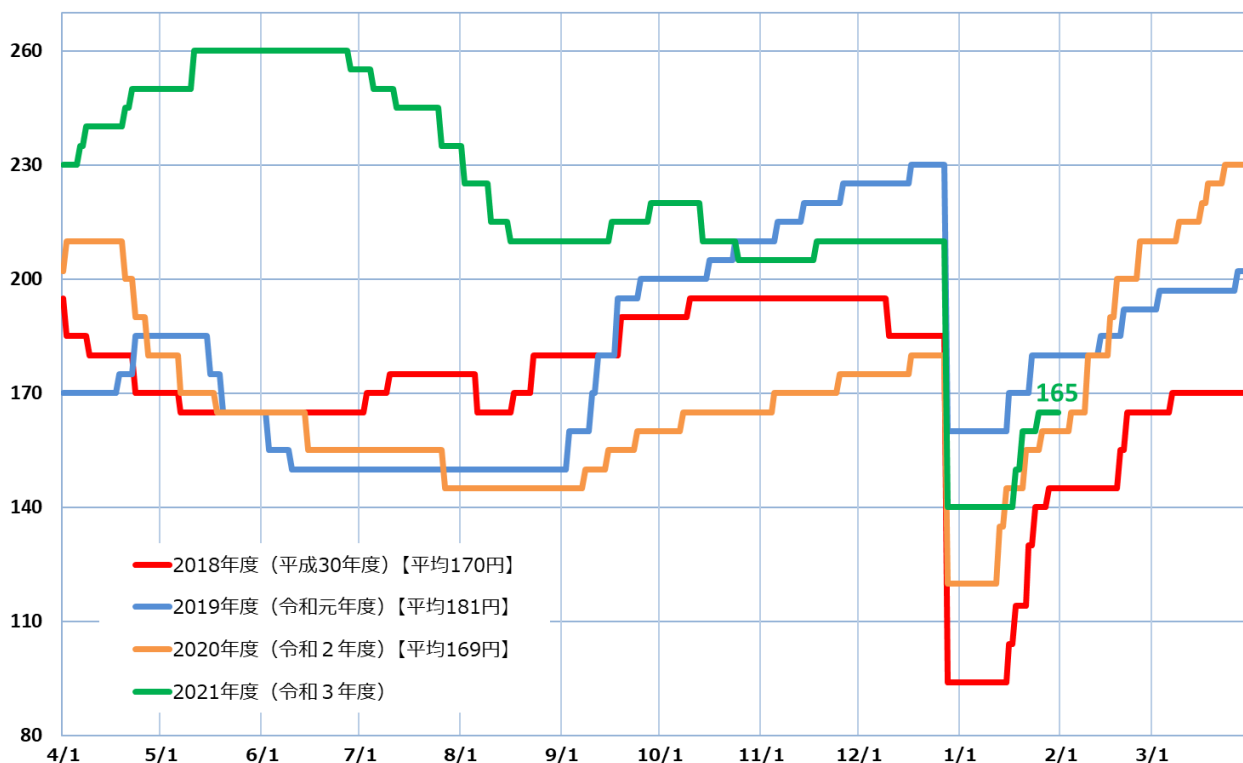
鶏卵相場動向 — 過去10年間の1月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成25年	171	208	154
平成26年	224	258	204
平成27年	192	223	174
平成28年	182	218	164
平成29年	179	213	159
平成30年	159	188	144
令和元年	121	163	94
令和2年	170	200	154
令和3年	142	180	114
令和4年	151	185	134
平均値	169	204	150

令和4年1月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値185円は、過去10年の平均値204円を19円下回り、安値134円は、過去10年の平均値150円を16円下回っています。



鶏卵相場推移 2018年度～2021年度 東京全農Mサイズ 円/kg



12月末から1月中旬まで140円でしたが、1月末には165円まで回復しました。今シーズンも鳥インフルエンザの影響に注視が必要です。

**鶏卵関係主要計数 —— 令和3年11月までの年間の主要計数推移**

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成鶏用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
2年12月	8,602	97.0%	529	100.4%	1,007	109.8%	227	178
3年1月	8,518	83.9%	450	93.4%	951	115.0%	170	142
2月	8,892	104.5%	440	92.8%	920	99.4%	185	183
3月	9,040	89.4%	507	101.1%	943	93.0%	197	220
4月	9,654	103.9%	476	94.5%	978	94.4%	202	241
5月	9,183	95.6%	464	97.5%	1,004	97.4%	168	258
6月	10,083	107.8%	476	100.9%	882	94.3%	160	259
7月	9,867	100.0%	462	95.2%	903	93.5%	153	245
8月	8,140	98.1%	451	101.6%	915	98.3%	145	215
9月	8,924	111.2%	467	102.1%	902	99.3%	153	213
10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
11月	9,057	101.2%	485	102.8%	924	97.4%	171	207
1年間合計 平均(%)	109,656	100.1%	5,670	98.0%	11,271	99.0%	175(平均)	215(平均)

- ・雛餌付羽数は、9,057千羽（前年比101.2%）と前年比1.2%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、485千トン（前年比102.8%）と前年比2.8%増となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、924グラム（前年比97.4%）と前年比2.6%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の36円高を示しました。

協会活動報告**鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)**

①価格差補填事業の事業参加者との ②令和4年1月 標準取引価格 145.54円/kg
契約数量（トン/月当たり）

平成30年度	169,171
令和元年度	167,141
令和2年度	163,160
令和3年度	153,391

③鶏卵価格差補填事業
補填基準価格 181円/kg
安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年2月2日
編集・発行責任者：浅木 仁志 (info@jpa.or.jp)